

トピックス

軽くてコンパクトで使いやすいワクモ捕獲器「ワクモホーム」

ワクモは、昼間は鶏舎内の隙間、物陰で集塊をつくり、夜間に鶏に寄生し、吸血するダニです。ワクモによる被害は年々増加しており、生産性の低下や、鶏痘、マイコプラズマ症などの病気の媒介や誘発要因にもなっています。



駆除方法は、殺ダニ剤の散布が主流ですが、薬剤耐性を獲得しやすいことから有効な薬剤が少なくなってきました。また、鶏舎全面に薬剤散布が必要で、大型鶏舎ほど薬剤コストが高くなり、労力負担も大きくなることから、薬剤に代わる防除方法が望まれています。

そこで、ワクモの集塊を作るという習性を利用し、大型鶏舎で使用できるワクモトラップを近藤電子株式会社と共同で開発し平成30年2月に特許取得、「ワクモホーム」の名前で商品化しました。

このワクモホームは、「軽くてコンパクト」、「留め具と一体型」、「薬剤不使用」、「設置・回収が簡単」、「捕獲量が目瞭然」といった特徴があります。

取り付け方は、①つまみを裏面側に折り曲げてワクモホームを閉じます（写真1）。②両側にある固定具の面ファスナーを開き設置したい箇所（ケージ等）に接触させます（写真2）。③ケージのT字や十字部分を固定具の面ファスナーでしっかりと挟み設置完了です（写真3、4）。

はずし方は、トラップの両側を持って手前に引くとはずれます（写真5）。

回収の目安は約5日前後ですが、大量にワクモが捕獲されている場合は早急に回収をお願いします。

効果的な使い方としては以下の3つです。
①ワクモが多く見られる箇所にワクモホームを設置し、ワクモを集めて除去します。
②清掃後や薬剤散布後に設置することで、駆除できなかったワクモが集まり、ワクモ

の生息数を減少させます。③ワクモホームの捕獲量を確認しモニタリングすることで、薬剤散布の時期の検討がしやすくなり、薬剤使用量を必要最低限に抑えられます。

現在は近藤電子株式会社からセット単位で販売しています。（研究・支援部 上羽）

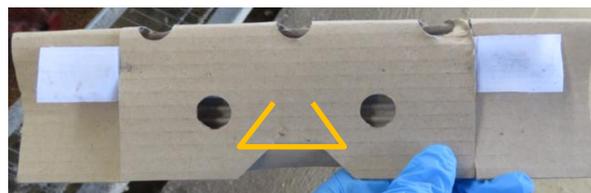


写真1 ワクモホーム裏面

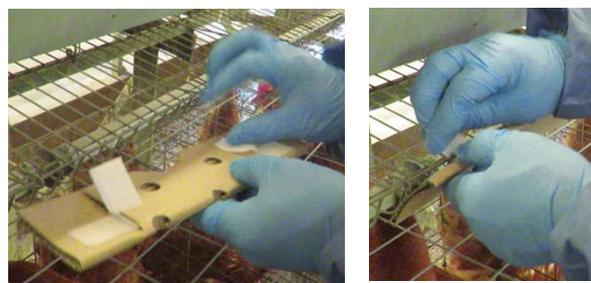


写真2 固定具を開き、設置部に接触

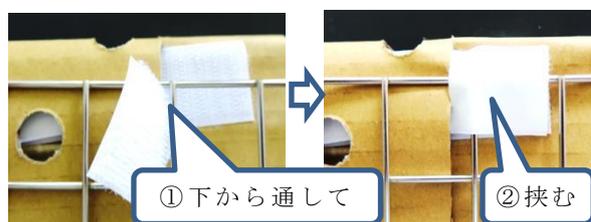


写真3 ケージのT字部を挟み込む



写真4 設置完了



写真5 はずし方